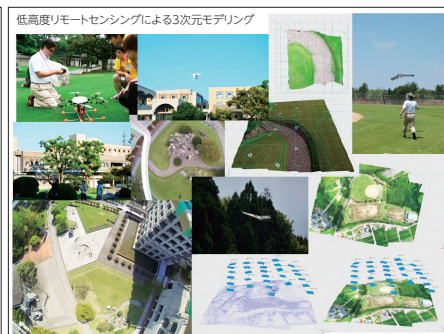
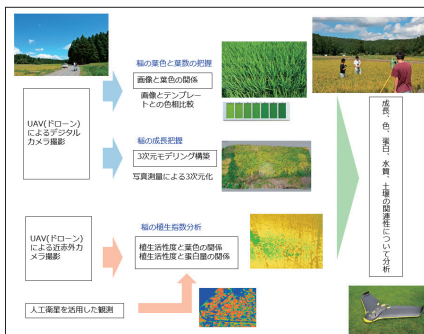


# 地理空間情報を活用した位置情報サービスの開発

リモートセンシング、衛星測位、レーザ計測、地理情報システムなど地理空間情報に関する要素技術は、ネットワーク、スマートフォンなどICT技術およびIoT技術と共に進歩を遂げている。現在それらを利用した高度な応用技術が求められており、新たな位置情報サービス産業が創出されることが期待されている。

本研究では主に次のテーマの研究を進めている。

- ドローン(UAV)を活用した環境調査、設備点検、農業支援
- 近赤外および熱赤外リモートセンシングによる植生調査
- 準天頂衛星みちびきを活用した位置情報サービスの提案
- 屋内測位法を活用した設備点検
- 3次元モデリング



地理空間情報を活用したさまざまな応用システムを開発し、新しい位置情報サービスを提案したいと考えております。お気軽にお問い合わせください。



徳永 光晴 教授

学部：環境・建築学部 学科：環境土木工学科  
所属研究所：金沢歴史都市建築研究所  
博士(工学)。東京大学講師を経て、平成14年本学助教就任。平成19年現職。

### Keyword

地球環境・地域環境 / 街路樹・農地の植生モニタリング  
リモートセンシング・地図 / 3次元都市モデル / 土木構造物のメンテナンス